

# TOTO

## ウォシュレット®

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

施工説明書

WASHLET®

### 工事店様へ

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 電気配線工事は必ず資格を持った電気工事が行ってください。

### 従来品よりベースプレートを変更しました。

→取り付けかたの詳細は、P.8 **3** ウォシュレット本体の取り付け の

- ① ベースプレートを取り付ける 参照

カウンターエプロンタイプに取り付ける場合

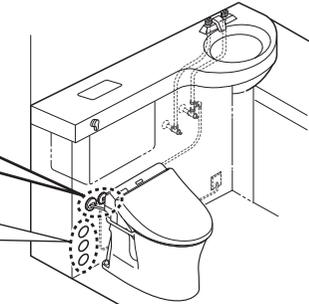
### 給水ホースを穴あけ推奨位置の穴に通さないと止水栓まで届きません。

→穴あけ推奨位置の詳細は、P.6 **1** 給電・給水位置の穴あけ の  
カウンターエプロンへの穴あけ位置 (推奨) 参照

### 穴あけ推奨位置 (製品背面)

※穴があいていない場合、新しい穴をあけてください。

取り替え前の製品で使っていた穴は同梱のふさぎシールでふさいでください。



安全上のご注意	2
取り付け前のご注意	3
取り付け前の確認	4
同梱部品	4
完成図	5

<b>1</b> 給電・給水位置の穴あけ	6
<b>2</b> 分岐金具の接続	7
<b>3</b> ウォシュレット本体の取り付け	8
<b>4</b> 電源ボックスの取り付け	13
<b>5</b> リモコンの取り付け	16

試運転	17
給水フィルターの掃除 (試運転後)	18
製品引き渡しまでの期間が長い場合	19
工事店様へ	19

はじめに

取り付けかた

試運転他



メーカー管理用です。

2023.6.1  
D07G01R

# 安全上のご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

 <b>警告</b>	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。	 <b>注意</b>	傷害や物的損傷が発生する可能性がある内容です。
---	---------------------	--	-------------------------

絵表示の例

 <b>禁止</b>	してはいけない「禁止」の内容です。	 <b>必ず実行</b>	必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	-------------------	--	----------------------

## 警告

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●指定する電源（交流 100V）以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)</li> <li>●電源ボックス、電源コードや電源ケーブル（VVFケーブル）が傷んだままで使用しない (火災や感電の原因になります。)</li> <li>●飲用可能な水以外は使用しない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)</li> <li>●電源ボックスは給水位置の真下に設置しない (結露水などにより電源ボックスに水がかかり、火災や感電の原因になります。)</li> <li>●給水ホースは、電源ボックス、電源コードに接触させない (結露水などにより電源ボックスに水がかかり、火災や感電の原因になります。)</li> <li>●車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)</li> <li>●(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li> <li>●電源ボックス、電源コードや電源ケーブル（VVFケーブル）を破損させることはしない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)</li> </ul>
 <b>必ず実行</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って確実にを行う (火災や感電の原因になります。)</li> <li>●電源は高速・高感度形の漏電遮断機で保護された回路に接続する (火災や感電の原因になります。)</li> <li>●電源ケーブル（VVFケーブル）は3芯（φ1.6またはφ2.0銅単線）を使用する (火災の原因になります。)</li> <li>●アース（D種接地）を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</li> <li>●電源ボックス、電源コードは正しく組み立てる (感電の原因になります。)</li> <li>●電源ケーブル（VVFケーブル）は正しい位置に根元まで差し込む (火災や感電の原因になります。)</li> <li>●電源ボックスはシリコンシーラントで防水処理を行う (火災や感電の原因になります。)</li> </ul>

## 注意

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li> <li>●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)</li> <li>●止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない (水が噴き出します。)</li> </ul>
 <b>必ず実行</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施工は施工説明書に従って確実にを行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)</li> <li>●ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む (「カチッ」と音がするまで押し込んだ後、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。)</li> <li>●(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li> <li>●給水フィルター付水抜栓を取りはずした場合は、確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)</li> </ul>

## 取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。  
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。  
温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため、故障の原因となります。
3. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
4. 電源は交流100V(50/60Hz)です。  
右表の、電力に適した配線をしているか確認してください。

定格消費電力	
脱臭あり	154W
脱臭なし	152W

5. 給水圧力範囲は下表で確認ください。この圧力範囲でご使用ください。

給水圧力範囲
0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)

6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
8. 便器洗浄に再生水を使用する場合は、別途ウォシュレット用に飲用可能な水を給水する必要があります。
9. 混合栓が浴槽と洗面器を兼用する(1水栓)場合、浴槽側と洗面器側に別々の混合栓を取り付けるか、またはウォシュレット専用の配管を別に設けてください。
10. 取り付けの際に別途手配が必要となる部材があります。下表でご確認の上、準備してください。

別途準備が必要な部材	備考
電源ケーブル（VVFケーブル）	電源ボックス用 [3芯（φ1.6またはφ2.0銅単線）]
シリコンシーラント	電源ボックスなどのシール材として必要

11. 電源コードの端子台（コネクタ）に電源ケーブル（VVFケーブル）を1度差し込むと抜けませんので十分注意して接続してください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

# 取り付け前の確認

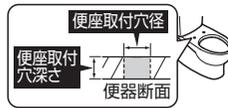
下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。

TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99

※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ベースプレートが便器に取り付けできない場合

便器取付穴径と便器取付穴深さが右記の場合は、同梱のベースプレート固定部材だけで施工しないでください。ウォシュレット本体のはずれ防止のための専用部材をご購入ください。



便器取付穴		品番
深さ(mm)	径	
36以下	φ19~21	TCA312
36~80	-	TCA310
70~110	(測定不要)	TCA310

## 給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約950mmです。

給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホース長さ(mm)	品番
1480	TCA331
1980	TCA332

## 止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具(品番:TCA158)をご購入ください。

## 右給水の隅付タンクへ接続する場合

給水ホースの長さが足りません。

別売品の中継金具(品番:TCA58R)をご購入ください。

## 給水コンセントへ接続する場合

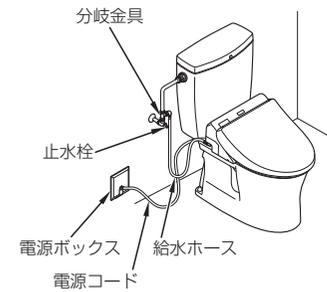
別売品のアダプタ(品番:TH778S)をご購入ください。

# 同梱部品

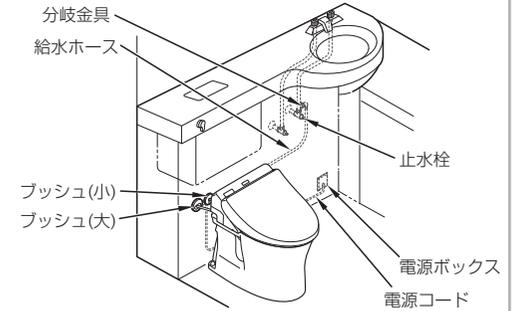
※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

<b>リモコン部品</b>  ハンガー ねじ(A) (2本) アンカープラグ (2本) リモコン 乾電池 (単4形×2個)	<b>分岐金具一式</b>  分岐金具 ふさぎナット パッキン (2枚) ゴムパッキン	<b>ベースプレート一式</b>  ベースプレート 固定板 (2個) ボルト (2本) ゴムプッシュ (2個)		
<b>電源ボックス</b>  カバー ふた 電源ボックス本体 ねじ(B) (4本) ねじ(C) (4本) アンカープラグ (4本)	<b>プッシュ</b>  (大) (小)	<b>ふさぎシール</b>  (3枚)	<b>クッション</b>  (取付説明書付)	<b>印刷物</b>  (取付説明書付)

# 完成図



## カウンターエプロンタイプに取り付ける場合



# 取り付けかた

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

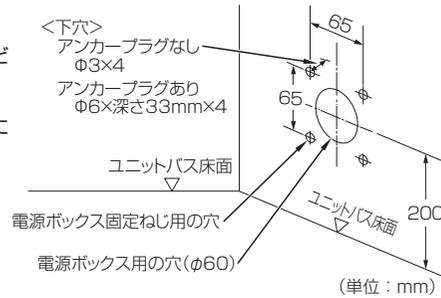
## 1 給電・給水位置の穴あけ

### 1 電源ボックス用と電源ボックス固定ねじ用の穴あけ位置を決める

確認項目

- 現場の壁裏配管や補強材の位置、意匠などを確認し、電源コードの届く範囲にする（電源コードの長さは約1.8mです。）
- 高さは右図で示している推奨寸法を目安にしてください。

壁への穴あけ位置（推奨）



### 2 電源ボックス用と電源ボックス固定ねじ用の穴をあける

- あけた穴のバリを取ってください。

カウンターエプロンタイプに取り付ける場合

### 穴あけ推奨位置に新しい穴をあけてください。

※すでに穴があいている場合があります。

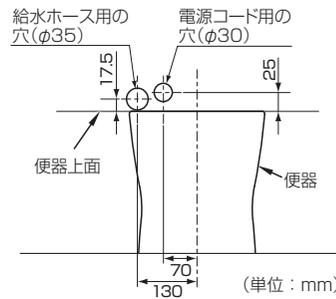
### 1 給水ホース用と電源コード用の穴あけ位置を決める

- 現場の配管や補強材の位置、意匠などを確認してから決めてください。

### 2 給水ホース用と電源コード用の穴をあける

- 穴をあける際は、便器を傷つけないように注意してください。
- あけた穴のバリを取ってください。

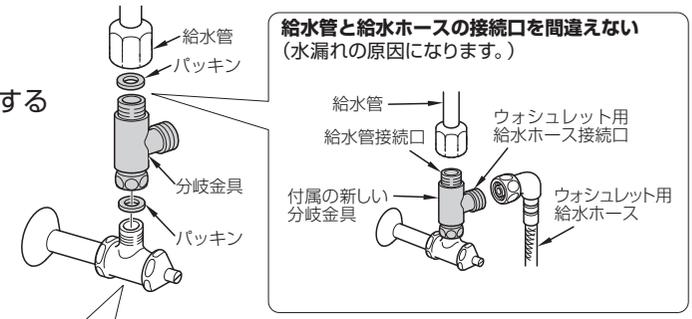
カウンターエプロンへの穴あけ位置（推奨）



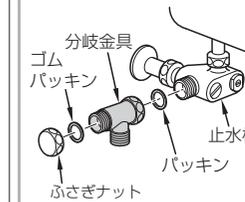
## 2 分岐金具の接続

### 1 止水栓を閉める

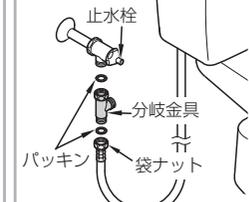
### 2 分岐金具を接続する



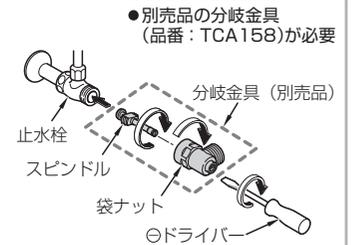
TOTO製ワンピース便器の場合



給水ホースがタンクの下側から出ているタイプの場合

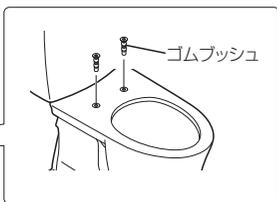


止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合



### 3 ウォシュレット本体の取り付け

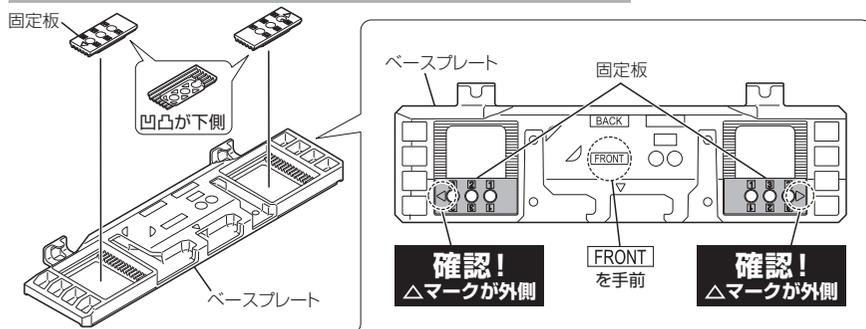
- ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。
- 取り付け前に、便座取付穴の形状を確認してください。  
→P.4 **ベースプレートが便器に取り付けできない場合** 参照



#### 1 ベースプレートを取り付ける

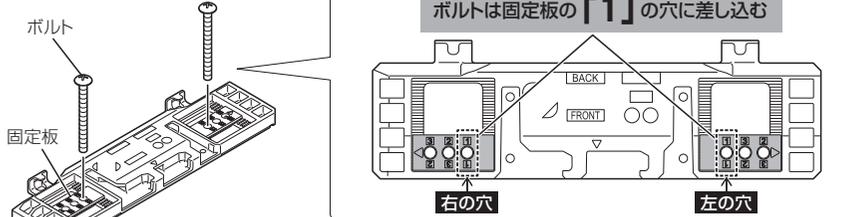
- 1 ゴムブッシュを便器に取り付ける
- 2 ベースプレートに固定板を取り付け、取付位置を調整する
  - 固定板の形状は2枚とも共通です。

※固定板には方向性があります。△の位置を確認して取り付けてください。



便器のサイズ		ボルトの標準取付位置	
約44cm	一番前側に合わせる		一番前側に合わせる
	前側より5凹後ろの位置に合わせる		前側より5凹後ろの位置に合わせる

#### 3 ベースプレートにボルトを取り付ける



- 4 便器にベースプレートを仮固定する
  - ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。

ウォシュレットを取り付けて、便ふたがカウンターのコーナー部分などに当たるときは  
左側があたる場合→P.10へ  
右側があたる場合→P.11へ



### 2 ウォシュレットを取り付ける

- 1 ウォシュレット本体を取り付けて、以下の確認を行う
  - 次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。

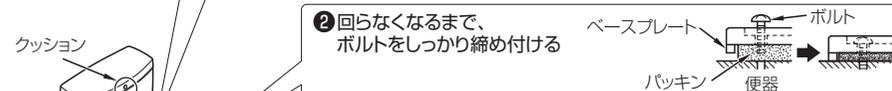
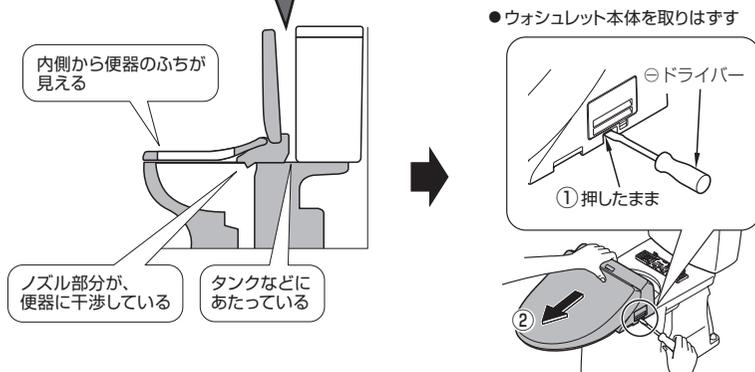
→P.8 **3 ウォシュレット本体の取り付け**

- 1 2 ベースプレートに固定板を取り付け、ボルト取付位置を調整するへ

便ふたがカウンターのコーナー部分などに当たるときは...



ウォシュレット本体を取りはずし、再度取り付けを行ってください  
左側があたる場合→P.10へ  
右側があたる場合→P.11へ

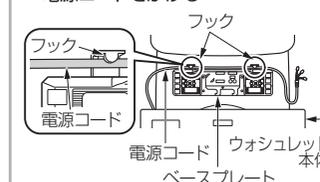


#### 3 ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

電源コードを便器の右側に取りまわす場合

- 1 ベースプレートのフック(2カ所)に電源コードをかける

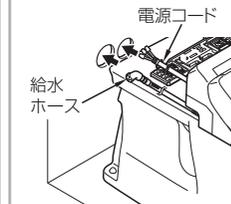


- 2 ウォシュレット本体を取り付ける
  - フックにかけた電源コードがたるまないように整えてください。



カウンターエプロンタイプに取り付ける場合

- 1 電源コード、給水ホースをカウンターエプロンにあけた穴に通す



- 2 ウォシュレット本体を取り付ける

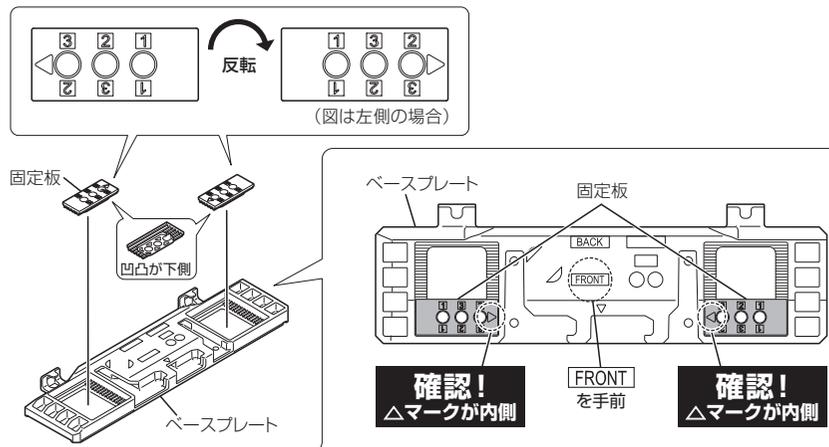
### ③ ウォシュレット本体の取り付け(つづき)



便ふたがカウンターのコーナー部分の**左側**にあたる場合

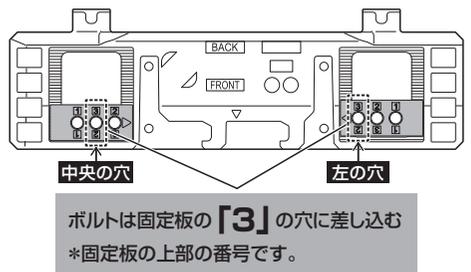
- ① ボルト・固定板をベースプレートから取りはずす
- ② 固定板を反転させて、ベースプレートに図のように取り付け、取付位置を調整する

- ※1 固定板には方向性があります。  
△の位置を確認して取り付けてください。
- ※2 右側と左側で固定板の取り付け位置が異なります。  
(ウォシュレット本体を右側に移動したときに、ウォシュレット本体と便器の中心を合わせるため)



便器のサイズ	ボルトの標準取付位置	
約44cm	一番前側に合わせる	前側より1凹後ろの位置に合わせる
約47cm	前側より5凹後ろの位置に合わせる	前側より6凹後ろの位置に合わせる

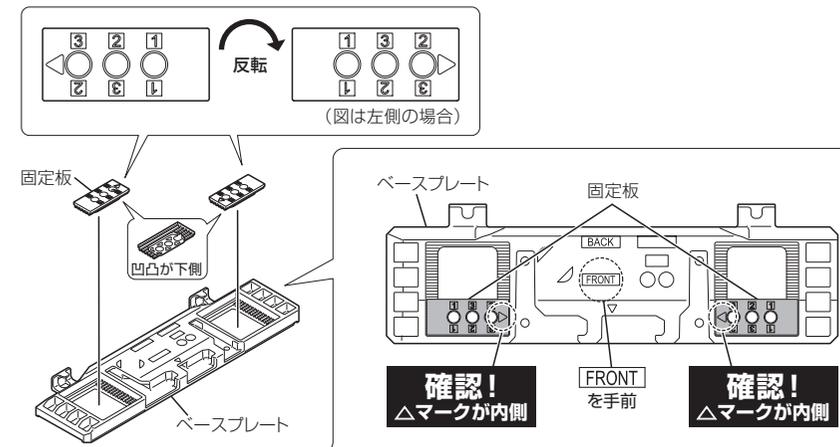
- ③ ベースプレートにボルトを取り付ける
- ④ 便器にベースプレートを仮固定する  
→P.8 ④ 便器にベースプレートを仮固定するへ
- ⑤ ウォシュレットを取り付ける  
→P.9 ② ウォシュレットを取り付けるへ



便ふたがカウンターのコーナー部分の**右側**にあたる場合

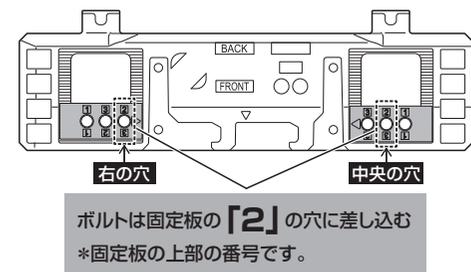
- ① ボルト・固定板をベースプレートから取りはずす
- ② 固定板を反転させて、ベースプレートに図のように取り付け、取付位置を調整する

- ※1 固定板には方向性があります。  
△の位置を確認して取り付けてください。
- ※2 右側と左側で固定板の取り付け位置が異なります。  
(ウォシュレット本体を左側に移動したときに、ウォシュレット本体と便器の中心を合わせるため)



便器のサイズ	ボルトの標準取付位置	
約44cm	前側より1凹後ろの位置に合わせる	一番前側に合わせる
約47cm	前側より6凹後ろの位置に合わせる	前側より5凹後ろの位置に合わせる

- ③ ベースプレートにボルトを取り付ける
- ④ 便器にベースプレートを仮固定する  
→P.8 ④ 便器にベースプレートを仮固定するへ
- ⑤ ウォシュレットを取り付ける  
→P.9 ② ウォシュレットを取り付けるへ



取り付けかた

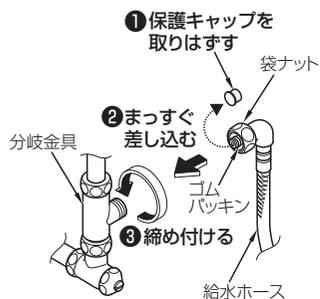
### 3 ウォシュレット本体の取り付け(つづき)

#### 3 給水ホースを接続する

**注意**

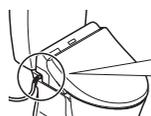
給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない

※給水ホースを接続後、給水ホースはタンク後ろなどに収めてください。



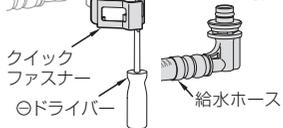
給水ホースの長さが足りない場合は、適切な長さのホースをご購入ください。  
→P.4 給水ホースの長さが不足の場合 参照

#### 長さ違いの給水ホースを取り付ける場合

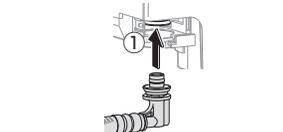


#### 1 給水ホースを取りはずす

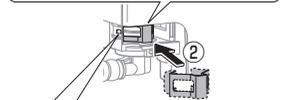
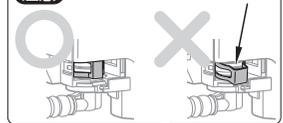
ツメをはさず



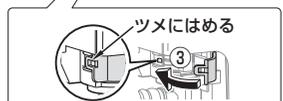
#### 2 給水ホースを取り付ける



**注意** ※すき間なく、奥まで差し込む



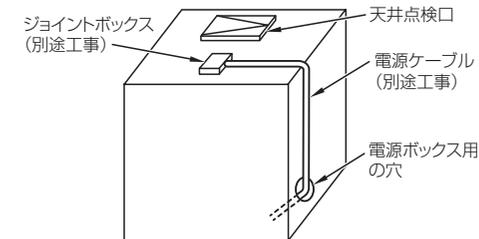
ツメにはめる



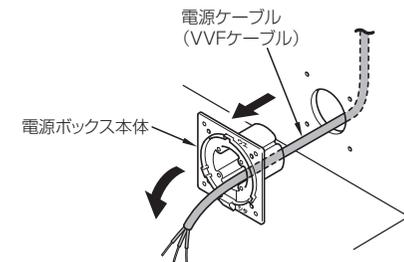
### 4 電源ボックスの取り付け

#### 1 天井裏のジョイントボックスから電源ボックス用の穴に電源ケーブル(VVFケーブル)を配線する

●電源ボックス用の穴から出す線の長さに余裕を持たせてください。

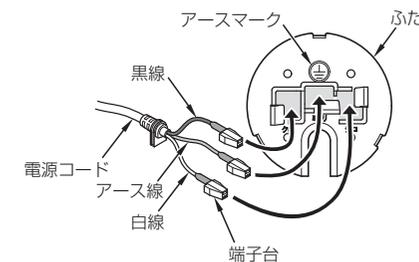
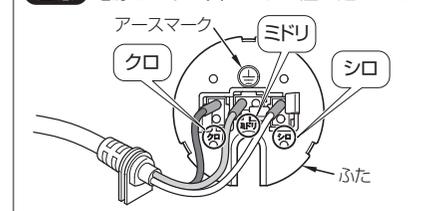


#### 2 電源ケーブル(VVFケーブル)を電源ボックス本体に通す

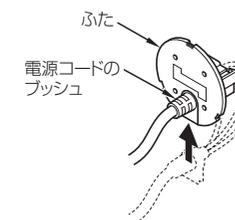


#### 3 電源コードの端子台(黒線・白線・アース線)をふたの「クロ」「シロ」「ミドリ」に正しく差し込む

**注意** 電源コードは図のように差し込むこと



#### 4 電源コードのブッシュをふたに差し込む



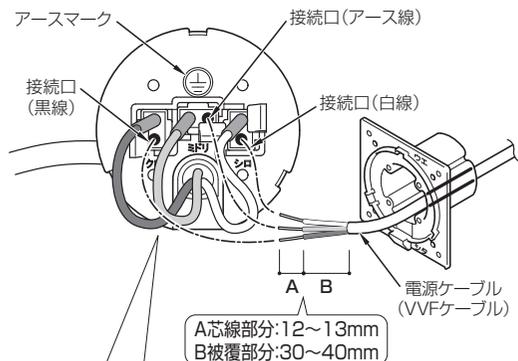
取り付けかた

## 4 電源ボックスの取り付け(つづき)

### 5 電源ケーブル(VVFケーブル)を端子台の接続口に差し込む

#### 警告

電源ケーブル(VVFケーブル)は正しい位置に根元まで差し込む(火災や感電の原因になります。)

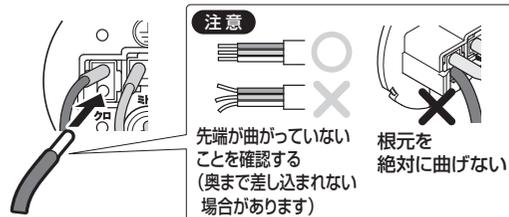


A 芯線部分:12~13mm  
B 被覆部分:30~40mm

#### 1 先端をそろえる



#### 2 まっすぐ挿入する



#### 3 奥まで挿入後、接続口から芯線が見えないことを確認する



#### 4 芯線が抜けにくいことを確認する

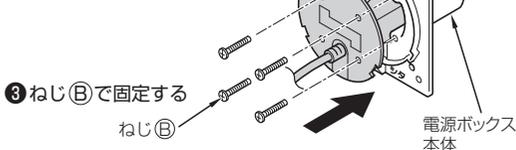
### 6 電源ボックス本体とふたをねじ(B)で固定する(4カ所)

- 内部に水が侵入しないように最後まで締め付けてください。

#### 1 電源ボックス本体の「ウエ」表示が上側にあること確認する

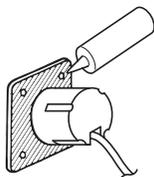


#### 2 電源ボックス本体とふたをセットする



#### 3 ねじ(B)で固定する

### 7 電源ボックス本体の裏面にシリコンシーラントを塗布する

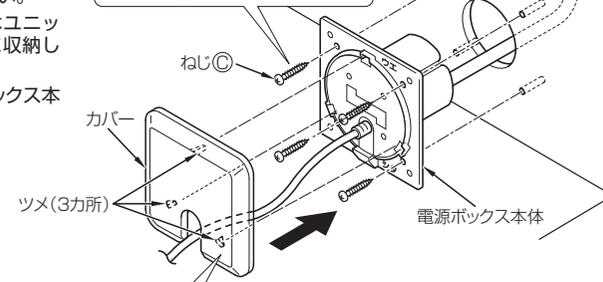


### 8 壁に電源ボックス本体を固定する

- 電源ボックス本体の「ウエ」表示が上側にあることを確認してください。
- 電源ケーブル(VVFケーブル)はユニットバスの壁裏に入れ込むように収納してください。
- カバーのツメ(3カ所)を電源ボックス本体へ確実に固定してください。

#### 1 ねじ固定用の下穴にシリコンシーラントを充てんする

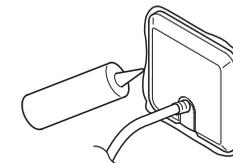
#### 2 ねじ(C)で固定する(4カ所)



#### 3 カバーを取り付ける

### 9 カバーの全周にシリコンシーラントを塗布する

- シリコンシーラントを塗布するときは、仕上げ面を汚さないように、マスキングテープなどを利用してください。
- シリコンシーラントがはみ出した場合は、きれいにふき取ってください。



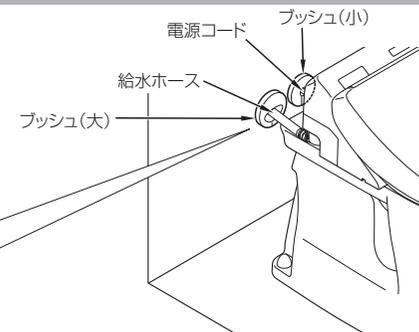
#### カウンターエプロンタイプに取り付ける場合

#### ブッシュを取り付ける(2カ所)

- 1 カウンターエプロン表面の汚れを取り除く
- 2 ブッシュ裏面のはく離紙をはがし、電源コード、給水ホースに差し込んでカウンターエプロンに貼り付ける

※ブッシュの切れ目が下向きになるようにしてください。

電源コードおよび給水ホース

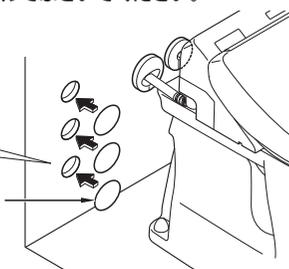


- カウンターパネルに穴があいている場合は、同梱のふさぎシールでふさいでください。

#### ふさぎシールを取り付ける

- 1 カウンターエプロン表面の汚れを取り除く
- 2 ふさぎシール裏面のはく離紙をはがし、カウンターエプロンに貼り付ける

ふさぎシール



### 10 ウォシュレット本体に通電する

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を確認してください。



# 給水フィルターの掃除(試運転後)

**1**

止水栓 ① 閉める  
⊖ドライバー

**2** ノズルを伸出させる  
※給水管内の圧抜きです。  
①「止」と「水勢+」をリモコンランプが点灯するまで同時に押す(約10秒)

確認

②「水勢+」「ビデ」「おしり」の順に押し、ノズルを伸出させる  
③「止」を押して、ノズルを戻す

**3** 通電を止める

**5** 給水フィルター付水抜栓  
⊖ドライバー  
ぞうきんなど

**6** 歯ブラシなど

**2** 水漏れチェック

① 全開

②

③ 通電する

水漏れチェック

# 製品引き渡しまでの期間が長い場合

**1** 配管の水を抜く

止水栓 ① 閉める  
⊖ドライバー

**2** ノズルを伸出させる  
※給水管内の圧抜きです。  
①「止」と「水勢+」をリモコンランプが点灯するまで同時に押す(約10秒)

確認

②「水勢+」「ビデ」「おしり」の順に押し、ノズルを伸出させる  
③「止」を押して、ノズルを戻す

**3** 通電を止める

**2** 配管の水を抜く

給水フィルター付水抜栓  
⊖ドライバー  
ぞうきんなど

給水ホース  
②  
水平に持ち上げてホース内の水を抜く

**3** 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

水抜きプラグ

●ノズル付近から水が出る(水がすべて抜けるまで約3分かかります。)  
※水抜きプラグは取りはずできません。

水が出なくなるまで待つ

**4** 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバーを取り付ける

## 工事店様へ

- 使用しない電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に製品を引き渡すまでの期間が長いときは、止水栓を閉め、通電を止めてください。
- 使いかたラベルは、取扱説明書の袋に入っています。お客様に確認を行い、貼り付けてください。

試運転他